

福島県対策地域内の高濃度PCB廃棄物の保管状況等の現地確認結果について

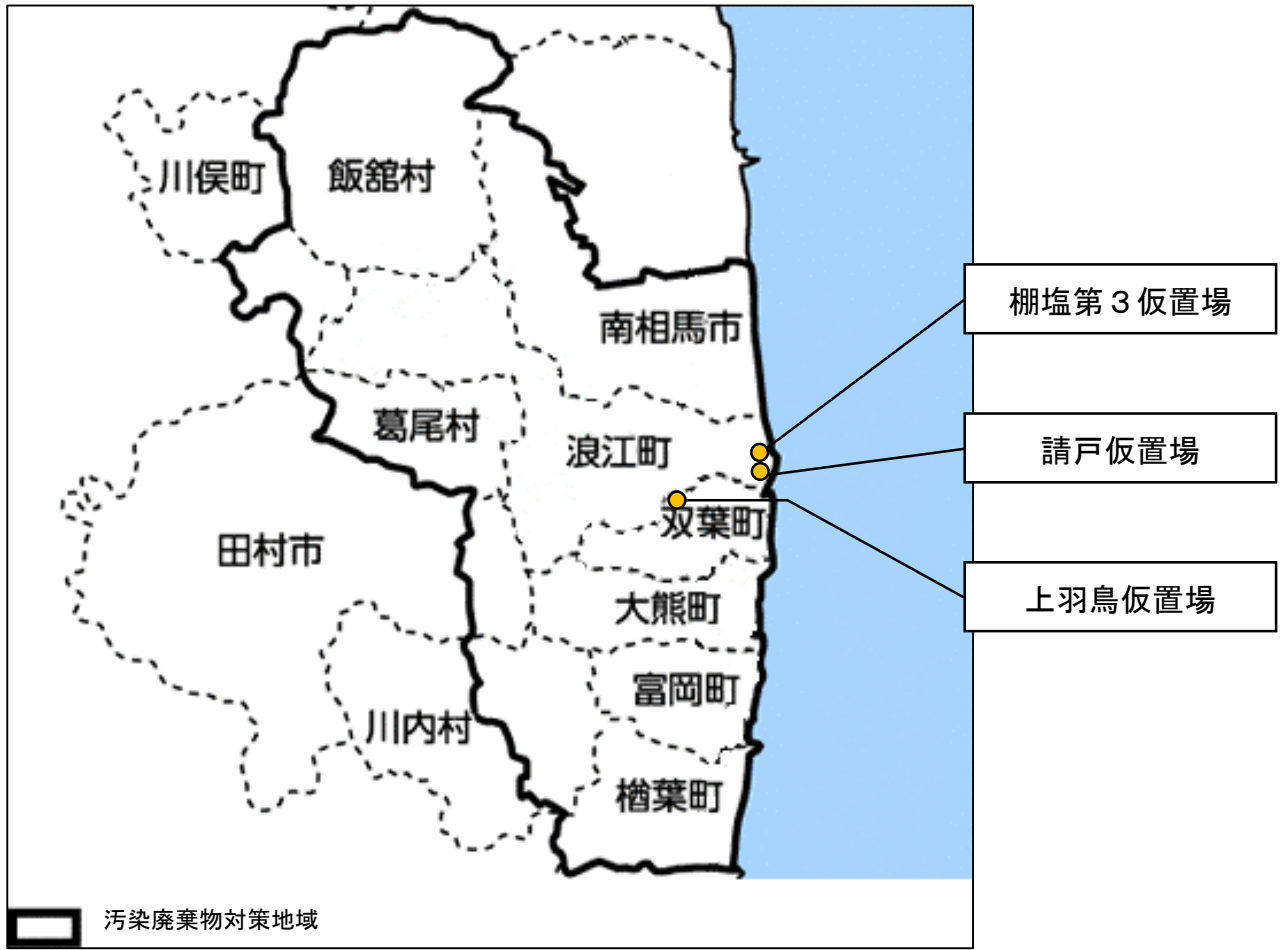
1 概要

<p>○ 室蘭市と道は、令和3年11月11日～12日、福島県対策地域内の高濃度PCB廃棄物の保管状況等の現地確認を行った。</p> <p>○ 現地では、処理対象物が保管されている仮置場3カ所において保管状況等を確認するとともに、一部の機器を抽出し表面汚染密度の測定等を実施した。確認した内容は次のとおり。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 仮置場における処理対象物は、プレハブ等の屋内で、PCBが飛散・流失しないよう漏洩防止措置がとられており、すべて適切に保管されていた。</li> <li>・ 一部の機器を抽出し、表面汚染密度を測定した結果、環境省の測定結果と同程度であった。</li> <li>・ 処理対象物の関係資料を閲覧した結果、福島第一原子力発電所敷地内のもは含まれていなかった。</li> </ul> <p>○ また、仮置場に集約する前の現地保管場所については、関係書類により確認し、参考として1カ所について、管理者の承諾を得た上で訪問し、現地の状況を確認した。</p> <p>(※)処理対象物は、コンデンサ31台、安定器等1,261台となっており(R3.9末現在)、これらは現在、「仮置場3カ所」と「仮置場に集約する前の保管場所19カ所」に保管されている。</p>
---

2 確認場所毎の詳細

区 分		うけど 請戸仮置場 (浪江町)	たなしお 棚塩第3仮置場 (浪江町)	かみほとり 上羽鳥仮置場 (双葉町)	【参考】集約前保管場所 (南相馬市)
目 視	コンデンサ保管数	16台	1台	4台	なし
	安定器保管数	254台	37台	38台	194台
	囲い等の有無	鋼板製仮設囲い・プレハブ建屋内に保管されている			屋内保管(電気室内)
	収納容器等、漏洩防止措置等	トレー内またはドラム缶、ペール缶に収納されている			鉄製保管容器に収納
	掲示板の設置	仮設囲いに表示されている			建屋扉に表示
	地面の状況	遮水シート・砕石・アスファルト敷設されている			コンクリート床
抽出測定	表面汚染密度の測定結果(Bq/cm <sup>2</sup> ) ※括弧内の数値は環境省測定値	【バックグラウンド】 : 0.23 コンデンサ : 0.23 (0.21) 安定器① : 0.25 (0.19) 安定器② : 0.62 (0.76)	【バックグラウンド】 : 0.26 コンデンサ : 0.21 (0.21)	【バックグラウンド】 : 0.44 コンデンサ : 0.54 (0.43) 安定器 : 0.26 (0.72)	【バックグラウンド】 : 0.22 安定器 : 0.23 (環境省測定値なし)
	空間線量率	0.09 μSv/h	0.07 μSv/h	0.33 μSv/h	
書類閲覧	保管記録(発生場所の確認)	仮置場に保管されている処理対象物は、被災建物の解体事業により発生したものであったため、仮置場への受入に係る関係資料を確認することにより、また、集約前保管場所に保管されている処理対象物は、被災前から当該保管場所で保管されているものであることを関係資料を確認することにより、それぞれ福島第一原子力発電所内のものが含まれていないことを確認。			

### 3 現地確認した仮置き場の位置図



### 4 確認の状況



仮置場内の保管場所



保管状況の確認



職員による表面汚染密度の測定



保管記録の確認



安定器の保管(ペール缶)